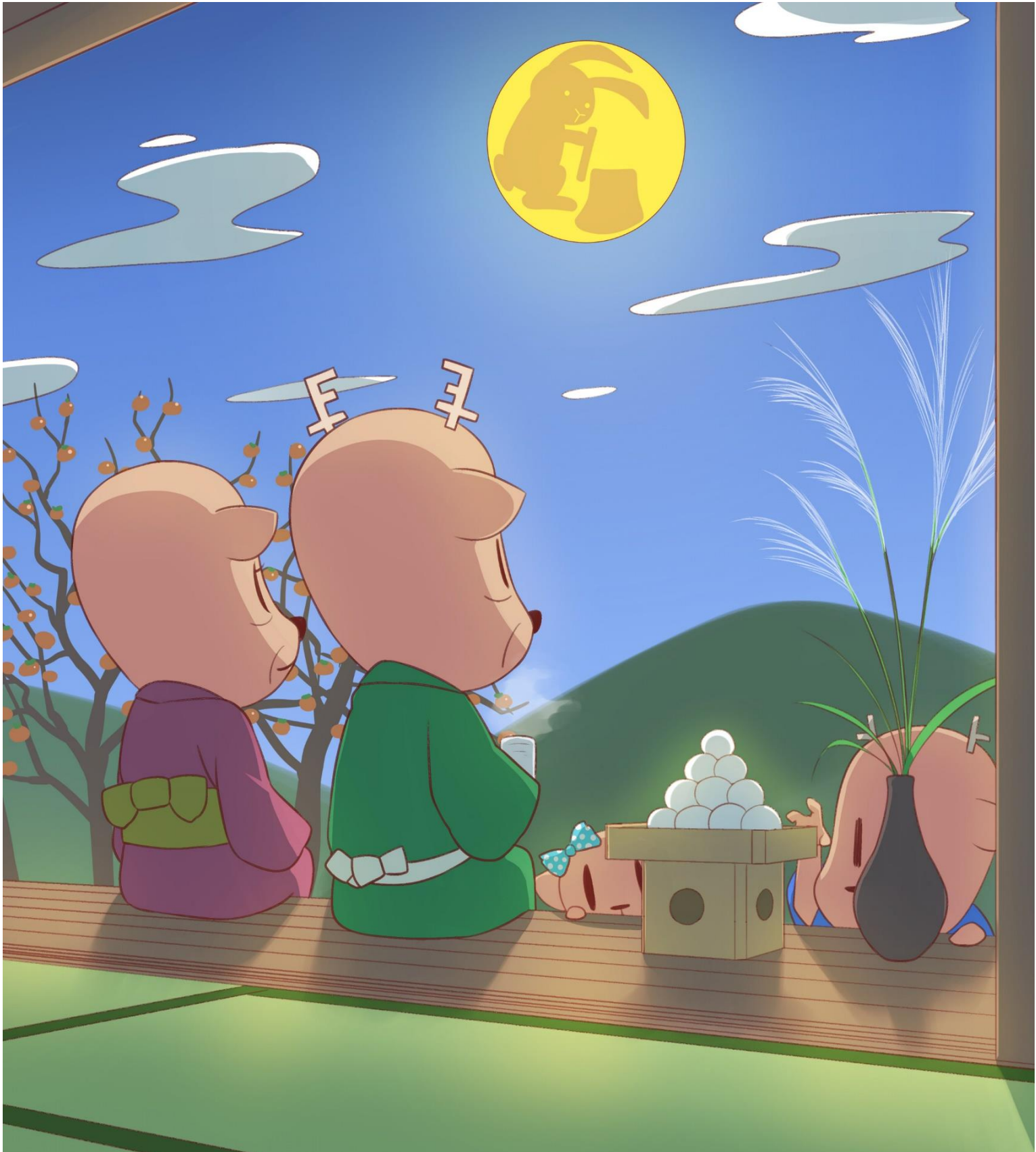


特集 月を魅る

ゆめのき

9

September 2018 Vol.360



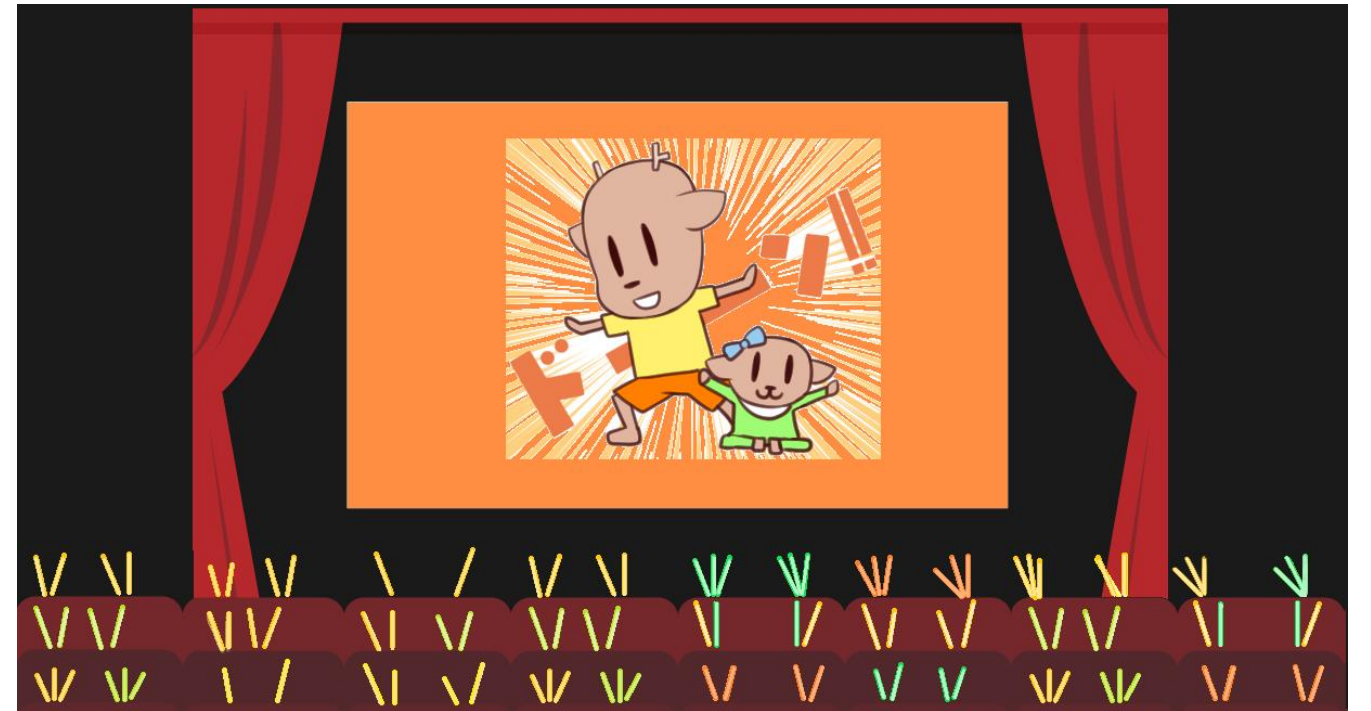


『イマドキ』は、職員が注目しているヒト・モノ・コトを発信するコーナーです。

映画は座って静かに見るもの…だけじゃない！

これが映画の"イマドキ"鑑賞スタイル。

応援上映



新たなエンターテインメント
みなさんは、映画館で上映スケジュールを確認した際、『応援上映』という表記を見たことがありませんか？映画といえば、ポップコーンやジュースを片手に、およそ2時間椅子に座って静かに見るもの・・・というのが映画館での常識だと思うのですが、近年その概念を覆す上映スタイルが広まってきているのです。

最近では「発声可能上映」「大合唱上映」などさまざまな呼び方がされているこちらの上映は、スクリーンに向かって声援を送り、ペンライトやうちわを振りながら映画を楽しむというもの。その斬新な上映方法がSNSや口コミで話題となり、現在では、デイズニー映画をはじめ、洋画・邦画・アニメーションを問わず、さまざまな映画でこの上映スタイルが取り入れられています。では、その魅力とは、一体どこにあるのでしょうか。

遊園地感覚で楽しむ「映画」
応援上映の一番の魅力は、「まるで自分も映画の登場人物になったかのような気分になれる」「同じ映画と一緒に見ている人と感情を共有し合える」という「一体感」ではないでしょうか。なかなか1人で映画を見に行くとその場で感情を共有し合うことは難しいと思うのですが、応援上映では年齢性別関係なくみなさんで楽しむことができ、またそれが友人づくりのきっかけとなることもあります。今や、映画は座って観るだけに留まらず、遊園地のような「体験型アミューズメント」として広がってきているのです。

足立区内の映画館でも、「応援上映」が行われている映画があります。みなさんもぜひ一度体験してみてください。 ※上映スケジュールについては各映画館にお問い合わせください。

ソムリエのいる居酒屋さん
ワインの材料が葡萄（ぶどう）なので、ということの名付けられた『葡萄家』。元あった古いお店を改装してきた、ワインのイメージにぴったりのお店です。

「ここに来たら、いつの間にかたくさん野菜を食べているな」、と思ってもらえることがこだわり。普段の食生活で不足がちな野菜を食べることで鹿浜地域の平均寿命を上げたい、と店主の君島さん。

疲れて何も作りたいくないという時、1人でも気軽にふらっと入れる、そんなお店です。

おいしいものを食べたくなったとき、ぜひ足を運んでみてください。

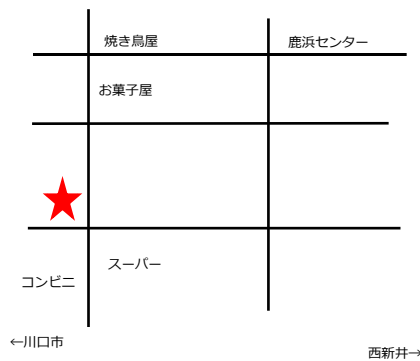


第4回

ワインと焼き鳥の店
葡萄家

住所：足立区鹿浜 3-19-23
電話番号：03-5837-4165
営業時間：午後6時～午前0時
定休日：なし

Facebook に、写真や詳しい情報を掲載しています。
QRコードを読み取ると、簡単にアクセスできます。





ビブリオバトルとは

1人1冊「おもしろい」と思った本を5分間で紹介し合います。「読みたい」と思った本に投票して1番票数が多い本がチャンプ本になります。



今回のチャンプ本はこちら！



『流れ星が消えないうちに』

橋本 紡／著
新潮社



★3～5人のグループでビブリオバトルを行います。

事前の申し込みは不要です。「はじめて」さんも大歓迎。
見るだけでもOK！

6月16日(土)のビブリオバトルは、高校生のバトラーと職員によるバトルとなりました。
今回は映画にもなった『流れ星が消えないうちに』が見事にチャンプ本に選ばれました。現在と過去が交錯して描かれる恋愛小説で、恋人との死別を乗り越え、「新たな人生をスタートしていく力強さ」に感動したとご紹介して頂きました。
他には、アニメ映画にもなった『言葉の葉の庭』が登場しました。自分の夢に向かって一直線にすすむ学生たち

の人間模様が美しく書かれ、読んでいて共感できる事が多く、著者は高校生の気持ちを良くわかっている
と大絶賛でした。
もう1冊は、職員オススメの絵本『リンダバーク 空飛ぶネズミの大冒険』。ねずみの主人公が数々の失敗を乗り越え最高の飛行機を作る場面が読む人を釘付けにします。
本の感想を皆で共感できるのもビブリオバトルの魅力です。次回は、9月15日(土)の開催です。
ご参加お待ちしております。

次回開催予定

日時：9/15(土)
午後2時から
場所：準備室

図書館よりあなたへ

しかはまだより

子育てに、絵本の力！

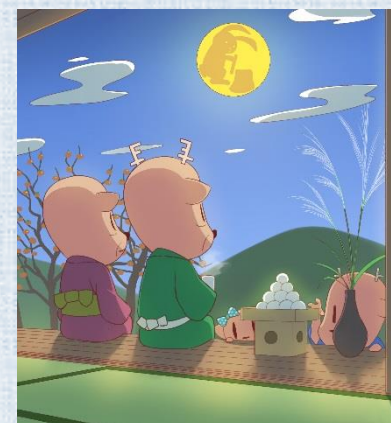


どんな絵本を選べばいいの？
「NPO法人絵本で子育てセンター」絵本講師のぐちりえさんがおすすめる絵本を館内にて8月より特集します。
絵本には子育てのあるあるがたくさん詰まっています。パパ・ママの心強い味方になります。特集に合わせ平成26年からゆめのき紙面上で掲載していた、のぐちさんの連載を持ち帰りやすいカードにしました。絵本を子育ての上手く取入れる方法が載っています。
絵本と共にぜひ、ご覧ください。

特別整理期間による長期休館のお知らせ

9月23日(日)～28日(金)は、特別整理期間の為、鹿浜図書館は休館致します。お客様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。
返却に時間が掛かります
ブックポストへの返却は一部資料を除き可能ですが、返却処理に通常よりも時間が掛かりますので、ご了承ください。なお、この期間中は近隣の図書館をご利用いただきますようお願い致します。※9月28日は全館休館日です。
いつもより長く借りられます
貸出期間が特別整理期間に重なる場合、鹿浜図書館で貸出した本は、その分の貸出期間を延長できます。この機会に、気になった本をじっくり読んでみませんか。

今月の表紙



月見団子

姿・形・味、色々あります。

穀物の収穫の感謝を込めて用意された月見団子。関東地方の月見団子は、満月に見立て白くて丸い団子を使います。数も十五夜にちなんで15個、又は1年の月数の12個と決まっています。

関西では、楕円の形の団子の上にあんこが乗ったものが良く見られます。さらに全国に広げると、真ん中をおへそのようにへこませた静岡中部のへそ餅や串団子、饅頭など種類は様々です。食べ比べてみるのも、楽しそうですね。

魅る月

夜空に浮かび闇を照らす月は、いつの時代も人々を魅了しています。今回は、これからのお月見がより楽しくなる特集をお届けします。



月の満ち欠けと「十五夜」

明治6年より、私たちは太陽の動きを元にした暦で暮らしています。それ以前の暦のことを、旧暦といい、月の満ち欠けを元にしていました。月が完全に欠けている新月の日を1日と数えていき、次の新月から翌月になります。

新月から新月までは、約30日掛かり、月の全てが輝いてまんまるに見える満月は、ちょうど真ん中の15日目になります。その為、毎月15日の夜は満月ということから、『十五夜』と呼ぶようになりました。

『中秋の名月』という程、秋の月は1年の中で一番美しく見えます。秋は空気が比較的乾いており、水蒸気が少ないので、はっきりとした月を見ることが出来ます。また、季節によって月の見える高さが違い、冬には空高く、夏は低い位置で見えます。春と秋が、見上げるには丁度いい位置にあるのですが、空気が乾いている秋の方がより美しく見えるのです。

餅つきウサギは

どこから来たの

「月にはウサギがいる」というのを、聞いたことがあるのではないのでしょうか。月の表面で黒く見える部分を『月の海』といい、月面上で比較的平らになっている場所です。この『月の海』が餅をついているウサギの模様に見えることからそのように伝えられてきました。

実は、それだけではなく、月の模様をウサギに見立てたのは、インドの神話にさかのぼります。

《倒れている老人を助ける為にサルとキツネは、食べ物を取ってきました。しかし、ウサギは何も取れませんでした。そこで、ウサギは火を焚いてもらい、自分を食べて貰おうと火の中に飛び込みました。それを見た老人は帝釈天という神様に戻り、ウサギの「捨て身の慈悲行(じひぎょう)」を伝える為に、ウサギを月によりみがえらせました。》

この神話だけでなく、中国の神話では、月で不老不死の薬を作っているなど、月とウサギの様々な伝説が語られています。

他の国の月には何が住んでいる？

日本ではウサギですが、様々な国で月の黒い模様を、別のものに例えています。国によって想像力が異なり、また、月を見た場所によって模様の傾きが変わるので月の見え方が違うそうです。



▲髪の長い女性
東ヨーロッパ・北アメリカ



▲ほえるライオン
アラビア



▲カニ
南ヨーロッパ



▲餅つきをするウサギ
日本

月の魅力をもっと知ってみませんか？



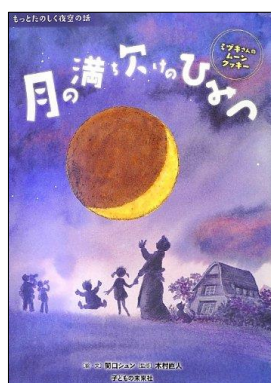
『月の名前』
高橋順子/著
デコ

日本人の豊かな感性で付けられた月の名前を紹介。美しい月の写真と詩人である著者の繊細な文章は、思わず月を眺めたくくなります。



『月学 伝説から科学へ』
稲葉茂勝/著
今人舎

月と人との関わりや歴史、月の誕生といった科学的な事まで、月についてまると学べる子どもも大人も楽しめる1冊。



『もったのしく夜空の話 月の満ち欠けのひみつ』
関口シュン/著
子どもの未来社

月に詳しいミヅキさんと夜空のひみつを知る絵本シリーズ。幻想的な月を見事に表現している絵本です。

月を見上げて

何を思う

『月見』は、奈良時代に中国より伝わり、貴族の間で、月を眺めながら、音楽を演奏したり、歌を詠んだりしていました。貴族の間の『月見』とは別に、日本では古くから満月の夜に農耕に関する祭りが行われていました。後に、この2つの風習が結びつき、月を楽しむとともに、収穫を神様に感謝する行事として、『月見』が行われてきました。

現在は、技術の進歩のおかげで夜も明るく過ごしていますが、遥か昔、夜を照らすのは月だけでした。夜の貴重な光源として、月は無くてはならない存在だったのです。そんな月だからこそ、月を見上げながら様々な思いを馳せ、文学や音楽、絵画、演劇など多くの作品の題材として残っているのではないのでしょうか。

今宵は、月を見上げて、じっくりと眺めてみてはいかがでしょう。その時、私たちは月を見て何を思うか楽しみですね。



参考文献

- 『月の時間』森光伸（光村推古書院）
- 『月学 伝説から科学へ』稲葉茂勝（今人舎）
- 『再発見！くらしのなかの伝統文化5 行事と日本人』市川寛明（ポプラ社）
- 『季節を知る・遊ぶ・感じる9月のえほん』長谷川康男（PHP 研究所）
- 『かこさとし こともの行事 しぜんと生活 9月のまき』かこさとし（小峰書店）

しかはま REPORT

3/10、4/21、6/30（土） 家族で農業体験 じゃがいもの植え方から収穫体験



じゃがいも たくさん 採れたよ！

6月の早い梅雨明け宣言の翌日、夏晴れの空の下、3月から育てていたじゃがいもの収穫を行いました。

さっそく収穫すると、畑のあちこちから「あったー！」「でっけー！」など楽しそうな声が上がりました。1家族5株植えてもらったのですが、すぐに植え終わり、まだまだ元気のありそうな子どもたちには、余分に植えた苗の収穫を手

伝ってもらいました。

普段、土をいじることもないからか、じゃがいもを掘った後も色々なところを掘り返して、虫やイモムシを見つけては見せに来てくれる子もいて、それぞれ収穫以外のことも楽しんでいたようでした。最後に、畑を貸してくださった小宮さんお手製のじゃがバターをいただいで、農業体験は無事終了しました。

たくさんじゃがいもの入った大きなビニール袋を抱え、笑顔で帰るご家族の中には、「今度はどうもろこしとか作りたいね」とお話しされている方もいらつしました。

今夜は、じゃがいもを使った料理で、家族の思い出話に花が咲きそうです。

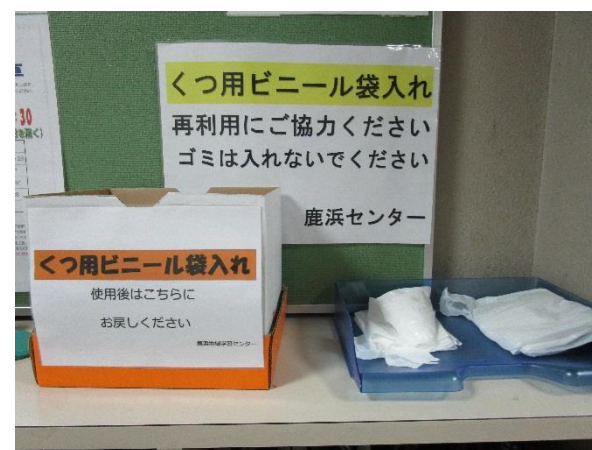


お客様からの様々な声にお応えするコーナーです。いただいたご意見や感想にお応えし、ゆめのきで紹介させていただきます。たくさんのお声をお待ちしております。

下駄箱に入らない靴はどこに置けばいいですか？



▲体育館・トレーニングルームをご利用の方は
ここで靴を脱いでください。



▲こちらのビニール袋をご利用ください。
使用後は、袋をこの箱に戻してください。

鹿浜地域学習センターでは私物の管理を呼びかけています。とくに貴重品、靴の放置は盗難や紛失の危険が伴います。

私たち職員も巡回を強化していますが、それでも置き引きが起きる場合があるので、肌身放さず大切に管理をしていただきます

よう願ひ申し上げます。

トレーニングルームや体育館をご利用する方に、靴用のビニール袋を下駄箱にある青いトレイの上に用意しております。

袋に靴を入れ、利用する部屋に持ち運んでください。

また、センター内での紛失物は

1階カウンターにてお預かりしている場合があります。

私物を紛失してしまい、見つからない場合はカウンターまでご連絡ください。

大切なものは肌身離さず管理しましょう

ご協力をお願い致します。



11月17日(土)、18日(日)に鹿浜ふれあいまつりを開催致します。

現在、イベントで使う景品を募集しています。食品以外のもの、未使用のものに限らせていただきます。

皆様のご協力をお待ちしております。

平成30年7月豪雨により被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。鹿浜センターでも、微力ではありますが義援金の受付をさせていただきます。お寄せいただきました義援金は被災地県に設置される『災害義援金配分委員会』を通じ、被災された方々へ配分されます。皆様からの温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《西新井駅西口から》

東武バス 都市農業公園行き「鹿浜中学校前」下車
東武バス 皿沼循環「鹿浜中学校前」下車
国際興業バス 荒川大橋経由 赤羽駅東口行き
「鹿浜中学校前」下車 いずれも徒歩3分

《西新井駅東口から》

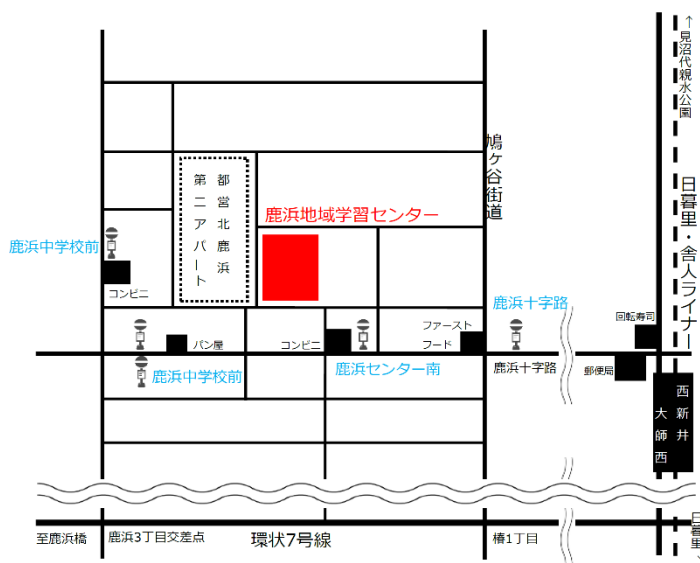
コミュニティバス はるかぜ 都市農業公園行き
「鹿浜センター南」下車 徒歩2分

《北千住駅西口から》

コミュニティバス はるかぜ 鹿浜五丁目団地行き
終点下車 徒歩5分

《日暮里舎人ライナーから》

「西新井大師西」下車 徒歩15分



足立区鹿浜地域学習センター・体育館・図書館 「ゆめのき」9月号(毎月1日発行)

発行/足立区鹿浜地域学習センター・体育館・図書館
発行所/〒123-0864 東京都足立区鹿浜 6-8-1
TEL03-3857-6551

足立区 鹿浜センター

検索



HP



Twitter



Facebook

責任/ヤオキン商事株式会社

「ヤオキン商事は、生涯学習を通し、お客様に心のこもったサービスを提供します」



「美しいまち」は「安全なまち」

ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 足立区